

2020年11月24日

各位

会社名 株式会社だいこう証券ビジネス  
代表者名 代表取締役社長 山口 英一郎  
問合せ先 執行役員総合企画部長 大矢 光一  
(電話番号 03-5665-3137)

## マネー・ローンダリング対策としての高次のIPアドレス分析機能を内藤証券に提供開始

当社グループの株式会社DSB情報システム（本社：東京都江東区、代表取締役社長：佐藤 公治）は、内藤証券株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：井上仁司）に対し、マネー・ローンダリング対策のため、不正アクセスの分析に有効なIPアドレスに関する情報を利用した高次の分析機能（以下、「本サービス」という。）を2020年11月24日より提供開始しました。本サービスは、「Dream-TIMS」<sup>(注1)</sup>をご利用いただくお客様に新たな機能として提供するものです。

金融庁は、「疑わしい取引の参考事例」<sup>(注2)</sup>において、注意を払うべき取引として、IPアドレスに関する事例を紹介し、注意喚起と必要な対応を求めています。また、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の現状と課題」<sup>(注3)</sup>において、取引時にIPアドレスから得られる地域情報を用いて、不正アクセス等を十分に検証できていないことを課題として取り上げています。このような状況下において、各金融機関は、隠匿した取引等を分析する態勢の向上が急務となっております。

本サービスは、これらの金融庁の方針を受けて開発したものであり、IPアドレスの地域情報やTor<sup>(注4)</sup>等の通信元を秘匿化した情報の提供および過去のアクセス履歴による傾向分析を可能とし、不正アクセスの分析に有効な情報として、疑わしい取引の判定に役立てるものです。「Dream-TIMS」に搭載することにより、高度な売買審査を実現できます。

当社グループは、今後も金融行政の動きや金融商品市場の動向を的確に把握し、売買審査管理システムの機能をより一層充実させ、市場の公平性・透明性の向上に貢献してまいります。

(注1) 「Dream-TIMS」とは、DSB情報システムが提供する共同利用型売買審査管理システムの名称。

(注2) 令和2年2月21日公表（金融庁ホームページ）：疑わしい取引の参考事例（金融商品取引業者）

「第2 真の取引者を隠匿している可能性に着目した事例」より抜粋。

(注3) 令和元年10月21日公表（金融庁ホームページ）：マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の現状と課題より抜粋。

(注4) 「Tor」とは、インターネット上に設けられた複数の中継・転送用ノードを繋いで、通信元の接続経路を匿名化する技術。

以上

<本件に関するお問合せ先>

株式会社だいこう証券ビジネス ソリューション営業部 細川、小田島 電話番号 03-5665-3042